

令和8年第1回臨時会(2月6日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		政 寿 樹	福 高 志	酒 匂 源 宝	井 上 和 代	久 保 量	大 河 香 市	杉 山 肇	牧 本 和 英	清 平 二	岡 林 剛 也	福 留 達 也	前 徹 志	樺 山 一		永 田 誠
承1	令和7年度伊仙町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
同1	伊仙町教育委員の任命	投票による表決(投票総数13票 賛成13票 反対0票)													—	同意
同2	伊仙町教育委員の任命	投票による表決(投票総数13票 賛成13票 反対0票)													—	同意
同3	伊仙町教育委員の任命	投票による表決(投票総数13票 賛成13票 反対0票)													—	同意
議1	伊仙町職員の給与に関する条例及び伊仙町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議2	令和6年度繰 伊仙町役場新庁舎新築工事(2期本体工事)(2期外構工事)請負契約の締結	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可決
議3	令和7年度 鹿浦小学校校舎改築工事(建築1工区)(建築2工区)請負契約の締結	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
議4	令和7年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議5	令和7年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議6	令和7年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議7	令和7年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決

令和8年第1回定例会(3月10日～3月19日) 議案・審議・議決結果

議8	伊仙町定住促進住宅条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議9	債権の放棄について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議10	伊仙町過疎地域持続的発展計画の策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議11	令和7年度伊仙町一般会計補正予算(第6号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議12	令和7年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議13	令和7年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議14	令和7年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議15	令和7年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第5号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議16	令和7年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第2号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議17	令和8年度伊仙町一般会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議18	令和8年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議19	令和8年度伊仙町介護保険特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議20	令和8年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議21	令和8年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議22	令和8年度伊仙町上水道事業会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決

【表の見方】 議:議案 承:承認 同:同意 ◎:全会一致 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 —:表決権なし

※永田 誠議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

令和8年 第1回定例会

一般質問



清 平二 議員

令和8年度施政方針について

問

施策36について、水源保全、水質の改善に努めるとあるが、現状について問う。

答

(水道課長)

カルキが多いというご指摘については、役場の方にも多々連絡がある中で、メーカーに問い合わせたところ、カルキ除去する設備は特殊なもので、カルキ除去をメインとして造っている業者が現在いない状況であるとのことであった。沖永良部島では、電気分解

等を行っているとのことなので、今後、情報収集をして対応を考えていきたい。また、原水の確保については、ダム水か地下水の二択しか残っていない状況をご理解いただきたいと思います。

(町長)

現在、ダム等の活用等も考え計画しているところだが、ダム水が安心・安全に町民に飲ませられる状態なのか水質検査等も含めて検討しているところである。

要望

カルキが多いとお風呂のボイラーや湯沸かし器等の故障が多く、町民は困っているので、早急に改善するよう要望する。

問

施策38について、町民の健康寿命の延命を図る。とあるが、令和8年度に

おける各種検診の申込に關し、肺がんCT検査の申し込みがないが、その理由を問う。

(町長)

答

令和8年度厚生連健診に向けた協議において、厚生連より、車両の老朽化により肺がんの検診ができないとの連絡があった。新たに車両を購入するには数億円の費用がかかることから、今後については、名言できないという申入れがあったと承知している。

(健康増進課長)

肺がんCTの車両がこないことを受け、保健センターの方とも協議を行なった。町の疾病罹患状況等を精査した中で、令和8年度においては、前立腺がん等に、その分の助成を代替案として、予算計上している。また、無償化については、財源については限りがあるので、一概に無償化というわけにはいかないと考えている。

議会を傍聴してみませんか

議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

ネット配信も行っておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入口の受付表に、住所、氏名を記入していただくだけです。

なお、**次回の定例会(第3回)は、9月8日(火)から予定しております。**

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

電話番号 86-3150 (直通)



要望 財源がないということだが、たばこ税の5342万円令和8年度予算に入っているの、こちらを有効活用すれば無償化できるものだと思う。町民の健康を

守る、命を守る施策を立てて、伊仙町で卒業できてよかった、伊仙町に住んでよかったと言えるようなまちづくりに努めていただくよう要望する。



大河 善市 議員

役場新庁舎2期工事の完成時期について

問

新庁舎2期工事について、正面玄関・多目的ホール・駐車場整備等が計画されているが、多目的ホールはどのような機能を持った施設なのか。また、駐車場整備について問う。

（町長）

答

多目的ホールに関しては、ほーらい館の癒しているホールとお互い共存しているような形で、様々な利用を考えていきたいと思っている。例えば、会議・式典・講演等、また、親子教室や各種健診、子どもたちや親子で雨の日に遊び場としての利用を考えていきたいと思っている。

（総務課長）

多目的ホールについては、災害時の避難所としての活用も想定しており、約150名程度収容できる施設として環境整備をすすめているところである。

駐車場については、来庁者の利便性向上を図るため、必要な駐車スペースを確保し、利用しやすい配置となるよう整備をすすめている。また、県道側駐車場は来庁者専用の駐車場とし、南側の駐車場を公用車・職員の駐車場として利用していく考えである。



役場新庁舎新築二期本体工事のようす

問

び完成後の落成式の実施計画について問う。

（総務課長）

答

新庁舎2期工事の契約については、令和8年11月末までの工期となっている。工事の進捗状況にもよるが、令和8年度中の完成をめどに整備を進めている。また、完成後の落成式については、工事完成後の準備期間等も踏まえ、令和9年度中の実施を含め検討していきたいと考えている。

農業用廃プラスチック処理について

問

回収作業に関し、年4回の改修計画であるが、3回しか実施されていない要因について問う。

（経済課長）

答

今年度の回収計画としては、4月の総会において、まず3回の回収日程を決定し、その中であと1回の予備の日程を設けて

いたが、JAさんの人員不足等により、3回の回収となった。

JAあまみ徳之島・天城両本部ともに糖業課が担当しているが、購買課及び関係機関も含めた推進協議会を設置しているので、我々職員の派遣等も含めて、年4回できないかという相談は、毎年度総会において行っている。

泉 重千代翁生誕の地の現状について

問

現在の維持管理及び清掃作業はどこが実施しているか問う。

（町長）

答

泉 重千代翁の生誕の地が民間の土地であるということから、役場としては、道路や周辺の草刈りや除草等の清掃等を中心に行っているが、名誉町民として、または長寿の島として恩恵を受けて昨年度は大阪万博、そして、健康・美・長寿推進協議会第1回

シンポジウムin京丹後市での世界に対するPR等もさせていただったので、町としてどのような関わりができるか前向きに検討していきたいと考えている。

（ぎゅらまち課長）

維持管理については、現在、民間の団体が管理しており、また私有地となっていることから、町としては、周辺道路、または銅像周辺の清掃及び除草作業等を行っていく状況となるが、管理団体等の協議等で、今後、考慮していきたいと考えている。

要望

泉 重千代翁生家は、地権者が不明で責任者もないという現状である。伊仙町にとつては、観光施設であるので、町として何らかの形で携わっていただくよう要望する。



井上 和代 議員

旧農高跡地について

問 現在の使用状況と活用計画はどのようなになっているのか問う。

(社会教育課長)

答 中央4階校舎については、1階から3階

までが伊仙町歴史民俗資料館、3階一部と4階一部が学習支援室、4階がサテライトオフィスで構成されており、西側2階校舎は、現在、鹿浦小学校が仮校舎として使用している。その奥に農業支援センター、隣の校舎は、キノコにじいろクラブが使用している。武道館や体育館、運動場は社会教育課管轄で部活動やスポーツ少年団等が利用しているが、その他の校舎については、老朽化により歴史

民俗資料館の遺物の収蔵庫や倉庫的に使用しているところである。

(町長)

文化的施設が旧農高跡地に集中することに対するメリットは大きいと思う。これまでにも旧農高跡地の活用については、いろいろな要望等があるので、今後町有地検討委員会できちんと話し合いを行い、何を優先してこの旧農高跡地を有効活用していくかを検討していく必要がある。

問

歴史民俗資料館の国指定文化財カムイヤキについての取組みはなされるのか問う。

(社会教育課長)

答

国指定史跡徳之島カムイヤキ陶器窯跡については、今後、幾つかのステップを経て、整備を行っていく予定としている。窯跡周辺は、ほとんど国有林となっているが、伊仙町と林野庁において遊々の森協定を結び、自然遊歩道とし

て植物観察や文化財巡見等、様々な体験活動やイベントで利用している。

カムイヤキの森は、世界自然遺産となった徳之島島内では、自然や文化に触れることのできる貴重な場であり、学校教育における生徒児童やツアーガイドを含む観光客等が利用することができる。

窯跡出土品であるカムイヤキは、近年、過去の調査の再整理を行い、破片資料の中で接合可能な遺物を抽出し、接着復元し、数10点の個体復元という成果を上げていく。

遺跡及び遺物の保護・活用を進めるにあたって、次の段階的な方法を検討中である。カムイヤキそのものの位置づけを行う総括報告書を作成、刊行し、遺跡や遺物、施設及び周辺環境全体を含めて、カムイヤキを柱に施設整備、拠点整備を進めていきたい。

(町長)

これだけ価値のあるもの

を私たちは先人から譲り受けている。その価値を後世に伝えるという義務があり、その点を踏まえ、工夫しながら後世に繋げていかなくてはいけないと考えている。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税寄附金を活用した事業はこれまでにどのようなものがあるのか問う。

(未来創生課長)

答

ふるさと納税活用事業については、活用できる事業が決められており、特産品開発に関する事業、健康増進に関する事業、環境保全に関する事業、文化の保存継承に関する事業、子育て支援に関する事業、青少年育成事業に関する事業、観光及び定住促進に関する事業などがある。

問

ふるさと納税に対して今後、どのような取組みが計画されているのか問う。

(未来創生課長)

答 特産品開発に関する補助金を活用しながら

つ事業者との交流をさらに深め、様々な特産品開発に取り組んでいく。また、伊仙町の特色のある特産品に関しては、地産物をもっとうまく活用しながら伊仙町をPRし、ふるさと納税につなげていきたいと考えている。

(経済課長)

伊仙町の農作物を活用して、ふるさと納税の返礼品としても進めている。また、農作物を活用したふるさと納税の商品開発のコンテスト等ができないかの協議も進めているところである。

(町長)

返礼品等の工夫をしなくては、ふるさと納税、または企業版ふるさと納税の拡大につながらない、返礼品をこれからどう魅力あるものにしていくか、ふるさと納税をこれから増やしていく中で大きな課題である。



酒匂 源宝 議員

町民に寄り添う役場づくりのための接遇向上と来庁者への案内について

問

多様化する住民の要望や意見に対し、親切丁寧かつ迅速に対応できる体制が整っているのか問う。また、初めて来庁される方や障がいを持つ方に対して、やさしい環境となっているのか。今後の改善策も含めて問う。

答

(町長)

初めて来庁される方、また障がいを持つ方に対して、アクセシビリティのように北側玄関の一番近いところに専用駐車場を整備する予定である。また、来庁者がリラックスできる環境づくりとして、音楽を流すなど工夫して取り組んでいるところである。

(総務課長)

庁舎入口やエレベーター前などに案内図を設置している。また、受付業務については、特に1階のフロアの横の連携を職員が率先して行っているところである。接遇マニュアルというものの特段定めていないが、研修会に参加した職員がそのスキルを身につけて周りの職員や後輩等に指導していくものだと考えている。

要望

職員の接遇状況を数値化して評価・講評できる体制の構築、また、町民目線の課内名変更の検討または、広報誌などで各部署の業務を示すよう要望する。



公正公平な行政運営の徹底と住民福祉の向上について

問

伊田町長による「しがらみのない町政運営を行う」ことの決意を求めると同時に、具体的な行政運営の在り方を問う。

(町長)

答

町民が伊仙町政に対して参画しやすいようにするためにはどうあればいいか、いろいろな意見をもつて、こう変えてほしいとか、一部の人が言っている、利益を被ることはなく、全ての町民が意見を言いたいやすい環境をどうつくっていくかという、町民参加のまちづくりを念頭に取り組んでいる。

指名委員会における入札制度の在り方については、全て100%納得いくような形で入札制度が進んでいるというようなことではないと思っている。今後、公正な伊仙町の入札制度の在り方等、その方向性をどのように探っていくかということを検討していく必要性を感じている。

(総務課長)

公平性の確保については、それぞれの決定段階において、関係法令というものは公務員の基本であるので、法令、条例に基づいて決定をされていくものと認識している。また、各種事業選定においても、公正公平を念頭におきながら、事業選定、意思決定を推進していくものであると考えており、公表についてももちろん行っていきたいと考えている。

指名委員会として改善す



べき問題については、これまでも入札のあり方、一般入札制度等々、過去にも議論はあった。そちらのメリット・デメリット等も踏まえて、今後、指名のあり方、入札のあり方についていろいろ考えていかなければいけないと思うが、指名委員長として現在、課題を抱えているということはない。また、指名委員長として、町長の政治責任が問われるような指名委員会の在り方ではないと断言できる。

令和8年第1回伊仙町議会定例会において 令和8年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出決算審査特別委員会について (一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「各種委員会」をご確認ください。)

去る3月10日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和8年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月13日から18日までの4日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

その中で、3月13日に、委員並びに議長を含む14名で、令和8年度当初予算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ、担当課長及び担当職員から詳細な説明を受け、現地調査を行いましたので報告いたします。



町議会HP

● ほーらい館について、浴室からレジオネラ菌が検出されたことにより、2月24日から約2週間休館となっていたが、清掃と消毒処理により、3月12日から無事再開され、館内は利用者で賑わいが戻り始めている状況であった。今後も徹底した清掃、消毒処理により来館者が安心して利用できるよう努めていただきたい。また、令和8年度には「癒ていなホール」の空調設備改修が予定されているとの説明であったが、プール施設の天井ボードも広範囲にわたって崩落している状況であり、その原因である防水対策も年次的に計画し、利用者の安全を最優先に取り組んでいただきたい。そして、利用者からの要望もある通り、浴室入口付近への簡易トイレの設置と衛生面を考慮しスチームサウナ室内への水道蛇口設置を検討されるよう要望した。



徳之島交流ひろば「ほーらい館」

● 阿三カシナトウ団地については、これまでに木造平屋2棟6戸の建設がなされ、令和8年度においては擁壁工事及び敷地造成工事、1棟2戸の建設が予定され、今後、年1棟のペースで建設を進めていくとの説明であった。人口増加へ向けた取組みとして、近年多くの住宅政策が進められているが、所得による家賃価格設定が原因で、家賃が高額となったことから転居を余儀なくされるケースも発生していると聞かれるので、今後は、古い住宅の改修を行い、安価で住める住宅整備や小規模工区には家賃低廉化の住宅整備を行うなど、集落の実情を考慮した上で整備を進めるよう申し添えた。



阿三カシナトウ団地

● 給食センター建設事業については、令和8年度に建設用地購入費及び隣接する家屋の移転費用が計上されており、その後、建設設計に関するプロポーザルを実施、令和9年度より着工、令和10年度完成を目指す計画であるとの説明を受けた。また、学校給食に関しては、現代社会特有の課題である「偏った食事」「孤食」「若年層の生活習慣病の増加」などの解決に向け、食育の充実を図っており、具体的には、適正な塩分量摂取の習慣化、食材への感謝、自らで食を選択する知識の習得、食文化の継承など、「食」を通じて豊かな人生の基礎を築く取り組みも示された。



学校給食試食

実際の給食試食においても、健康に配慮した工夫が随所に見られ、塩分量が2グラム以下で抑えられているとはとても感じさせない、満足度の高い献立であった。近年の課題として、給食の残食が増加傾向にあるとのことではありますが、まずは保護者に対し「食育」の重要性を理解していただき、更には家庭での食事への関心を高めていただくことが不可欠である。現在、各学校で実施されている保護者向けの試食会に加え、今後はより多くの方々が給食に触れる機会を創出するなど、地域全体で食育を支える体制づくりに努めていただくよう要望した。

● 北部浄水場は、防災・安全交付金事業を活用し、令和7年度から令和11年度までの5カ年で進められています。総事業費は約5億6千万円で、馬根地区・中山地区・阿権地区の既存浄水場を北部浄水場として新たに1カ所に統合することを目的としており、現在は造成工事が進められている状況であった。この統合・更新により、従来の「緩速ろ過方式」から「急速ろ過方式」への転換が可能となります。これにより水量の確保に加え、大雨後などに発生していた水質の濁りが解消され、安定・安心な水道水の供給が実現されるとの説明であった。



北部浄水場

一方で、水質に関する問題は依然として重要課題である。特に西部地区においては、原水の大部分を地下水に依存しているため、水中の石灰分が非常に多い状況にあり、その結果、一般家庭における給湯器やシャワー、浴槽などに石灰分が付着し、日常生活に支障を来しているのが現状である。また、原水確保の代替案として検討された西部ダムについても水質上の問題から活用は困難であるとの報告がありました。このようなことから、西部地区の水質問題は住民生活に直結する喫緊の課題であり、早急な対策を講じるべき最優先事項として取り組まれるよう強く要望した。

議会の動き

令和8年第1回伊仙町議会定例会における諸般の報告
動静期間：令和7年第4回定例会(12月13日)以降の分

(議長の動静)

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行 事 名	場 所
12月	15日	郡議長会中央要望活動	東 京
	19日	徳之島3カ町議会議員連絡協議会第2回役員会	天城町
	25日	令和7年度 日本復帰の集い	泉芳朗記念館
1月	2日	令和8年 二十歳のつどい	ほーらい館
	4日	伊仙町消防出初式	ほーらい館
	29日	当選議員懇談会	伊仙町内
	31日	ほこらしや奄美音楽祭in徳之島	総合運動公園
2月	10日	第1回臨時会（初議会）	議事堂
	7日	徳之島三カ町議会議員大会	天城町
	15日	第11回とくのしま観光・物産フェア	東京都
	17日	第77回定期総会（県離島振興長村議会議長会）	鹿児島市
	21日	徳之島コーヒー収穫祭	町内園場
	23日	役場新庁舎建設2期工事地鎮祭	役 場
3月	25日	各種協議会（郡）	奄美市
	6日	議会運営委員会	委員会室
	9日	議会全員協議会	委員会室

(議員の動静)

月	日	行 事 名	場 所
12月	19日	徳之島3カ町議会議員連絡協議会第2回役員会	天城町
	25日	令和7年度 日本復帰の集い	泉芳朗記念館
	2日	令和8年 二十歳のつどい	ほーらい館
1月	4日	伊仙町消防出初式	ほーらい館
	8日	徳之島地区消防組合議会	伊仙町
	29日	当選議員懇談会	議員控室
	6日	第1回臨時会（初議会）	議事堂
2月	10日	徳之島三カ町議会議員大会	天城町
	23日	役場新庁舎建設2期工事地鎮祭	役 場
3月	6日	議会運営委員会	委員会室
	9日	議会全員協議会	委員会室

全国町村議会議長会永年勤続者(功労者)表彰



第1回定例会において、令和7年度全国町村議会議長会永年勤続者自治功労者表彰式が執り行われました。特別功労者（議会の運営及び地域の振興発展に特に顕著なる功労のあった者）として、前徹志議員(阿三)、町村議会議員として27年以上在籍し功労のあった者として、美島盛秀前議員(阿権)の2名が表彰されました。

誠にありがとうございます。今後も町政発展のため更なる活躍をご期待します。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。

農家の皆様におかれましては、今期のさとうきび製糖が終了し、製糖実績は19万5114トンと、近年では稀にみる豊作となったと伺っております。また、ジャガイモ価格の高騰による農家所得の向上や、畜産における子牛販売価格の上昇など、明るい兆しも見えてまいりました。

一方、世界情勢に目を向けますと、米国、イスラエルとイランの紛争などの影響により原油価格が高騰し、物価上昇が続くなど、私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしております。

さて、1月の町議会議員選挙では、町民の皆様のご判断により14名の新しい議員が誕生いたしました。3月11日から19日まで開催された令和8年第1回定例会では、町長の施政方針説明をはじめ、一般質問や令和8年度当初予算の審議などが行われ、活発な議論を重ねたうえで各議案を議決いたしました。

議会だよりにつきましては、議会活動を町民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう努めております。限られた紙面ではございますが、今後もより充実した内容となるよう取り組んでまいります。

今後とも、議会へのご意見等をお寄せいただき、より良い町づくりと活発な議会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

文責 福 高志

議会広報編集委員会

発行責任者 議長 永田 誠
委員長 井上 和代
副委員長 福留 高志
委員 久保 達也
委員 政 寿樹

